

Sustainability Report 2024

東海興業 サステナビリティレポート

世界に羽ばたく

TOKAI KOGYO



TOKAI KOGYO



私たち
環境と社会への貢献を通して
持続可能な未来の創造を
めざします。



企業方針

●社是

わが社は研究と創造とにはげみ よい製品によって
社会に貢献し社業のたゆみない進展をめざす
開発:つねに時流に先んじアイデアと時間を尊重する
和親:誠実と信頼により明朗と協調とをはかる
感謝:反省を進取の糧(かて)とし勤労のよろこびに生きる

●サステナビリティ方針

当社は、社是にもとづきサステナビリティ方針を制定しました。
1. 国の内外を問わず、人権を尊重し、すべての法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、高い倫理観をもって健全な企業活動を展開していきます。
2. 事業活動を通じて社会からの信頼と期待に応えることにより、各々・各地域の発展ならびに持続可能な社会の実現に貢献します。
3. ステークホルダーの期待に応える事業活動を実践するにあたり、企業行動の規範となるべき「サステナビリティ方針」を定め、経済・環境・社会との調和を保ち、共存共栄を実現します。

●六方よしのサステナブル経営

当社は、近江商人の「三方よし」の信条を基礎として、さらに3つの「よし」を加えた「六方よし」すなわち売り手・買い手・世間・作り手・地球・未来の六方をサステナブル経営として体現しています。

- ①「売り手」が商品の価値に見合う利益を永続的に確保する
- ②「買い手」にとって満足度の高い商品やサービスを提供する
- ③事業活動を通じて社会貢献を行い
- ④地域や「世間」の発展に寄与する
- ⑤サプライチェーンの「作り手」との信赖性と健全な関係を構築する
- ⑥環境保全を軸として「地球」が健全な状態を保つ
- ⑦将来世代に負の遺産を残さない
- ⑧「未来」をつくる



TOP MESSAGE

当社は自動車産業の一員として、環境や社会への取り組みをバランス良く取り入れ、持続可能なビジネスの実現をめざしています。環境面においては、CO₂排出量の削減に力を入れており、2050年までのカーボンニュートラル実現のためのロードマップを掲げ、目標達成に向けて推進をしています。サーキュラーエコノミーの活動を通して廃棄物そのものを削減することに加え、里山の保全など自然環境保全と回復に貢献するプロジェクトも実施しています。

持続的な活動の一環として、健康経営の推進や安全な労働環境の整備、働きやすい職場づくりについても力を入れており、健康経営優良法人として4年連続認定されています。従業員が健康で生きがいを感じるこ

代表取締役社長兼CEO

木村 友一

編集方針

当社は2017年にはじめて「CSR報告書」を発行、社会的責任に関わる情報を発信し、さまざまなステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションをはかり企業の説明責任、透明性をはたすようつとめてきました。2021年から「サステナビリティレポート」として当社の活動をESGに分類して、ステークホルダーのみなさまの期待に応えるため、ESGデータを網羅的にまとめて発行を継続しています。

●対象期間

2023年度(2023年4月～2024年3月)を中心として、マネジメント活動に大きな進捗がある事業は2024年11月までとしています。ESGデータは2023年4月～2024年3月の期間としています。

●対象範囲

下記東海興業グループに属する4社を対象としています。

- ・東海興業ホールディングス株式会社
- ・東海興業株式会社
- ・化成工業株式会社
- ・タカラ化成工業株式会社

●本レポートに関するお問合せ窓口

東海興業株式会社 サステナビリティ推進部
E-Mail:csr@tokaikogyo.co.jp

●参考にしたガイドライン

当社はGRI(グローバルレポートインシアチブ)を参考に編集をいたしました。

GRI 200 経済	GRI 400 社会
調達慣行	雇用
腐敗防止	労使関係
反競争的行為	水と廃水
	労働安全衛生
GRI 300 環境	研究と教育
原材料	ダイバーシティと機会均等
エネルギー	非差別
水と廃水	強制労働
生物多様性	人権アセスメント
大気への排出	地域コミュニティ
排水および廃棄物	顧客プライバシー
環境コンプライアンス	社会経済コンプライアンス
サプライヤーの環境面のアシスト	

SOCIAL

- 01 TOP MESSAGE
- 03 COMPANY PROFILE
- 05 特集1 世界「S・E・K・A・I」に羽ばたく東海興業グループ

ENVIRONMENT

- 13 「健康経営」と「働き方改革」で
〈創造的な組織〉を実現
- 17 サステナブルなモノづくりと調達活動
- 18 文化・スポーツを通じた社会貢献
- 19 エンゲージメント
- 20 特集2 防犯CSR
- 21 持続可能な社会をめざす環境対応
- 22 サステナブルな未来に貢献する当社のイノベーション
- 23 事業部の環境への取り組み
- 25 特集3 グループ企業のサステナブル経営

- 27 持続可能な企業づくりを推進
- 29 SDGsと六方よし
- 30 ガイドライン

COMPANY PROFILE

当社は無機・有機材の複合成形の専門メーカーとして、材料開発から製造、販売まで一貫した体制で、世界中のお客様に満足と信頼を提供します。

会社概要

東海興業株式会社 (TOKAI KOGYO CO.,LTD.)
愛知県大府市長根町四丁目1番地
TEL:0562-44-1500 FAX:0562-44-1590
資本金/3億135万円
設立/1947年3月31日
清算/3月
事業内容/自動車用樹脂・ゴム・シート部品、車載電子部品、建材用部品およびその関連商品の製造販売

従業員・売上推移



主要取引先

- トヨタ自動車株式会社
- 本邦技術工業株式会社
- ススキ株式会社
- いすゞ自動車株式会社
- 日産自動車株式会社
- 株式会社デンソー
- 日立Astemo株式会社
- トヨタ車体株式会社
- トヨタ紡織株式会社
- ダイハツ工業株式会社
- 株式会社豊田自動織機
- 三菱自動車工業株式会社
- 積水ハウス株式会社
- 株式会社LIXIL

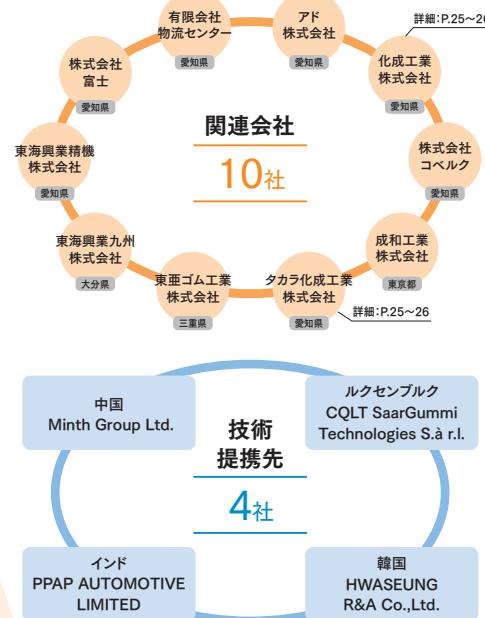
[順不同]

海外拠点

海外7カ国



ネットワークでつなぐ生産体制



国内拠点

国内工場5カ所 国内営業所5カ所 関連会社10社



モビリティを通じて グローバルに貢献 世界「S・E・K・A・I」に 羽ばたく東海興業グループ

東海興業グループは、真のグローバル企業として持続可能な成長をめざして中期経営ビジョン「TKG2025」を実践中です。

その取り組みはサステナブルなモビリティ産業の発展をささえ、世の中の暮らしをモビティを通じて豊かにする社会に貢献するため世界「S・E・K・A・I」をキーワードに活動を展開しています。

もっといい車づくりに、夢のある未来に、クリーンでわくわくするモビリティ社会の実現のためゆまぬ努力を積み重ねていきます。

Topic

当レポートのモチーフ 「アネハヅル」と東海興業

アネハヅルは体長90センチでツル科の中で最小とされていますが、優れた飛行能力を持ち合わせています。シベリアからインドへ渡るため他の鳥では飛行できない名峰ヒマラヤ山脈(高度8,000m)の上空を飛ぶことが可能です。

当社はこのアネハヅルといいくつかの共通点があります。ひとつは決して大きな鳥ではないにも関わらず優れた飛行能力で過酷な自然に対応していることが、オンライン技術とバイタリティ溢れる当社の社風に重なることです。もうひとつは、当社が開発・和親・感謝を社是とし常にチャレンジする姿勢に似ています。



S:自然環境の保全



自然環境の劣化・減少が加速するなか、貴重な生態系を保全・回復させることは重要です。当社は下條工場で「里山プロジェクト」を実践し地域の生態系を守ると同時にCO₂も吸収しています。

詳細はP7・21

E:エネルギーの脱炭素化



政府が定めた2050年カーボンニュートラルは、産業界にとって重要な指標となっています。当社はカーボンニュートラル達成に向けたロードマップを策定し活動を推進しています。

詳細はP8・23・24

K:健康経営の推進



従業員の健康を重要な経営課題と捉え、従業員の活力向上と企業の生産性向上を目的とした健康経営が求められています。当社は健康増進の積極的支援により従業員が健康で幸福な社会生活を享受し、企業の発展をめざした活動を展開しています。

詳細はP9・13・14

A:安全第一の労働環境整備



SDGs目標8「働きがいも経済成長も」では安心安全な労働環境がターゲットとして示されています。当社は、安全確保を企業経営の最重要事項として位置付け、ISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)を導入し労働災害撲滅に向けた実効性のある取り組みを展開しています。

詳細はP10・15

I:生きがいを感じられる働きやすい職場づくり



当社は、青年期、子育て世代、介護、シニア期など、従業員がそれぞれのライフステージに応じて能力を発揮できる働きやすい職場づくりに取り組んでいます。ワークライフバランスから一歩先を見すえたワークインライフが生きがいのある働き方と考え、人材育成、業務改善、DX改革などを推進しています。

詳細はP11・12・15・16



自然環境の保全



当社は、六方よし経営のひとつである、環境保全を軸とした「地球よし」の実現のため、下條工場と高浜工場で、森を守り、海を守る活動を推進しています。

森の保全 下條工場里山プロジェクト

工場敷地に広がる約5.8ha(東京ドーム1.2倍)の森林を整備・間伐をほどこし生態系を守る活動「里山プロジェクト」を推進しています。

鳥がさえずり、リスが巣を作る里山は多様な生物によりさまざまな恵をもたらしています。

また、整備された森はCO₂の吸収も高く、長野県から45.6tCO₂/5年の認定を受けています。



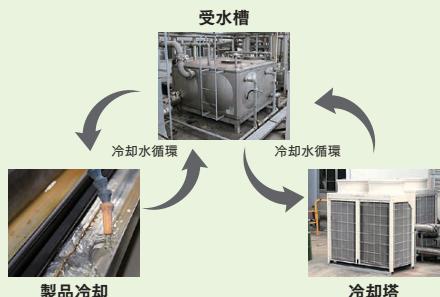
CO₂吸収量
45.6tCO₂/5年

長野県認定書

海の保全 高浜工場・高浜第2工場 衣浦湾のシラスウナギ漁場の水質保全

衣浦湾は矢作川水系の三河湾に属しており、豊かな海を保全することを目的とした「矢作川沿岸水質保全対策協議会」により排水を厳しく規制されています。

高浜工場、高浜第2工場は工業用水を工場内循環利用により排水ゼロを実現しています。衣浦湾でとれたシラスウナギは愛知県西尾市の養鰻場へ、そこで育ったうなぎは三河湾特産の「一色うなぎ」として出荷されています。



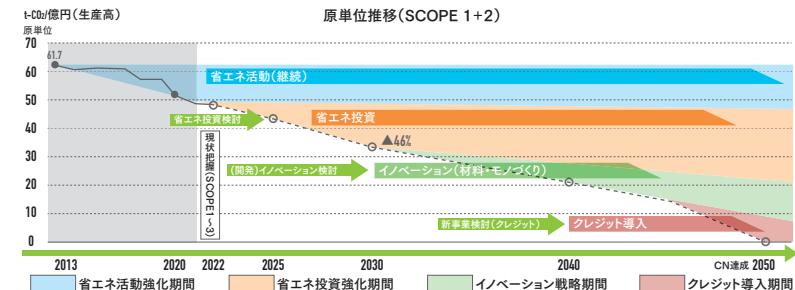
エネルギーの脱炭素



美しい地球環境を将来世代に残すため、2050年のカーボンニュートラルを経営方針の中で中核課題として捉え、2022年よりプロジェクト活動を開始し、CO₂削減に取り組んでいます。

カーボンニュートラルロードマップ

当社事業活動でのCO₂排出量を2030年までに46%以上削減(2013年比)、2050年に実質ゼロを目標としたロードマップを設定しました。自社の生産工程だけでなく、上流(原材料調達)・下流(物流)などで排出されるCO₂に対しても削減活動を推進しています。

日常改善によるCO₂削減

製造事業部にて実施しているロスの少ない生産活動や、全社で取組むエコオフィス推進を中心とした地道な日常改善により、継続的にCO₂削減に取り組んでいます。



照明のLED化(100%完了)

省エネ投資の推進によるCO₂削減

老朽化設備の更新、新規ラインの設置時にカーボンニュートラルを意識した省エネ設備を積極的に導入しています。2024年度からCO₂の削減を金額評価する「カーボンプライシング」を社内制度化し脱炭素投資を推進しています。



大府ウレタン工場の省エネボイラー

車両LCA*でのCO₂削減に貢献

次世代モビリティとしての電気自動車は車両走行時のCO₂削減で大きな役割を果たしており、当社はパワーユニットの構成部品を製造して貢献しています。省スペース化、軽量化、ノイズ除去など、電気自動車の快適性などに繋がる要求が高まるなか、独自技術による高品質製品を提供し続けます。

*LCA(ライフサイクルアセスメント):原料(資源採取)→生産→使用(走行)→廃棄までのライフサイクルの環境負荷を定量的に評価すること



健康経営の推進



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

当社は、従業員に対する「健康増進の積極的な支援」と「生きがいを感じられる職場の提供」によりサステナブルな組織の実現に向けて活動を強化しています。

健康経営価値ストーリー

当社は、健康経営を推進し「従業員と企業が共に成長」、世界「S・E・K・A・I」に羽ばたくサステナブルな経営をめざします。



健康経営方針と健康経営推進体制

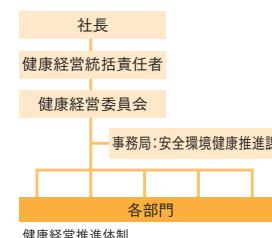
● 健康経営方針

『経営理念』を実現して、商品の開発による住みよい地球づくりに貢献し品質至上主義で世界のお客さまに満足を提供するには、従業員自身が健康であることが不可欠であり、健康でなければお客様の信頼を得ることができません。

当社は、会社の成長を支える従業員とその家族の心身の健康を重要な経営資源のひとつ捉え、健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、従業員がいきいきと豊かで快適・健康な社会生活と経済の発展に貢献する会社をめざします。

● 健康経営推進体制

当社は健康経営を推進するにあたり、社長をTOPとした体制を整備しています。サステナビリティ推進部の担当役員が統括責任者となり、委員会により各部門の実行責任者が活動を後押ししています。



● 健康経営優良法人2024(大規模法人)認定

当社は健康経営に取組む優良企業として、経済産業省・日本健康会議から「健康経営優良法人2024(大規模法人)」に4年連続して認定されました。



安全第一の労働環境整備



当社は、安全なくして操業なしの理念のもと、売り手よし(従業員)、作り手よし(サプライヤー)の安心安全な職場づくりと風土の醸成を推進しています。

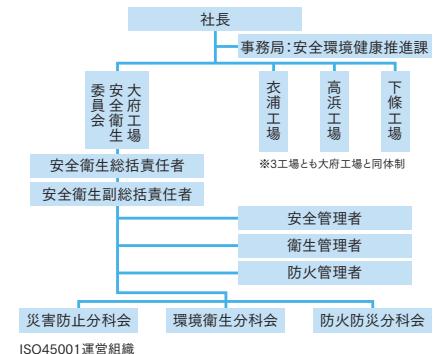
安全第一の職場づくり

当社は安全衛生活動のPDCAサイクルを確立しISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)を認証取得しています。また、当社は個人の安全度の向上と組織での職場観察の強化を目的にTAES(Tokai Anzen Eisei Standard)規定を策定し作業ルールを遵守する人材育成に注力しています。



● ISO45001運営組織

当社は、社長が総合安全衛生責任者となり、各工場に安全衛生委員会を設立しています。安全衛生委員会では安全・衛生・防火管理者のもと分科会活動を展開し労働環境の整備を推進しています。



● ISO45001活動プロセス

当社では社長が安全・衛生に関する方針を示し、その方針を達成するための目標と計画を立案、実践することで、職場の安全性の向上をはかっています。計画の進捗フォローを内部監査、年度末には活動総括の社長報告を行うことでPDCAサイクルを回し安全な職場づくりをめざしています。





生きがいを感じられる働きやすい職場づくり



10年後の自分に会いに行こう

当社では、入社10年～15年を経過した中堅社員が様々なシーンで活躍しています。当レポートでは、若手社員が中堅社員に対して「生きがいを感じられる働き方」についてインタビュー形式で取材し、10年後の自分（私の夢）を語っていただきました。



テーマ 1 ワークインライフの充実した働き方

研究開発部 深谷 (2022年入社) 研究開発部 前田 (2009年入社)

深谷 入社3年目となり、研究の難しさを感じていますが、仕事をひとつずつ進められるようになり、余暇でも趣味や自己啓発に時間を使え、生活と仕事ともに充実していると感じています。

前田 研究の仕事は多岐に渡りますが、深谷さんはスケジュール管理などしっかりできており、着実に成長されていると思います。私も仕事はもちろんのこと、プライベートの時間で大事に考えています。



2017年、2020年に産休・育休を取得し、復職後は仕事と育児で充実した日々を送っています。周囲のサポートもあり、プライ

ベートで家族と過ごす時間が得られ、子供の成長を近くで感じることができます。

深谷 私も将来、ライフスタイルの変化に合わせた選択をしたいと思います。前田さんのように、仕事と育児を両立しながら、社外展示会などで当社のアピールなどをされる姿を見て、私も追いつけるように頑張ります。

前田 展示会の場などで新たな発見を得られ、良い刺激をもらっています。また、展示会だけでなくメディアの情報の中にも新たなニーズにつながるヒントがあると思います。広い視野を持ち発想を膨らませ研究業務に取り組んでいきましょう。

今は皆さんに教わることが多いですが、将来は頼られる人材になり、かつプライベートも充実した生活が送られるよう、自分の時間も大事にしていきます。



設計部 太田 (2023年入社) 設計部 増田 (2012年入社)



時には、現地で顧客や拠点スタッフとコミュニケーションを取り、製品の立上げに向けて開発を行い、一つずつ課題解決できたときにやりがいを感じます。特に自分が設計した部品が搭載されている車を街中で見かけるとそう感じますね。

開発業務は、顧客要求と製造技術の両面を理解しなければならない難しい仕事ですが、様々なスキルを磨き、活躍できる場を広げていきたいです。

テーマ 2 設計開発のやりがいとスキル向上

太田 まだまだ設計の経験が浅い私は、担当部品を数点受け持つのでも大変ですが、増田さんは幅広く部品設計のスキルをお持ちなので、どのようにスキルを向上させてされたのか教えてください。

増田 はじめは覚えることが多いですね。設計の仕事はCADの使い方、金型の構造理解、製品評価などたくさんあり、ひとつずつ経験を積んできました。また、2016年から1年間アメリカの関連会社に出向しましたが、現地の顧客や技術者と英語でコミュニケーションを取りながら開発を進めてきたのは大きな経験だと感じます。

太田 私もCADの使い方や金型の構造についての理解がまだまだなので、少しずつスキルアップさせていきます。英語力の向上にも興味があるので海外に行く機会もあれば経験を積んでみたいと思います。

増田 太田さんにも是非そういった経験を積んでほしいです。

ウレタン事業部 芹澤 (2022年入社) ウレタン事業部 植村 (2013年入社)

テーマ 3 生産ライン改善の苦労と達成感



芹澤 生産技術の業務は生産ラインの管理や改善など多岐に渡ります。もともと機械いじりは好きで、学生時代に学んできたことは役に立っているとは思っていますが、新たな発見や気付きが多々あります。今後は新規設備の導入など、新たなプロジェクトにもチャレンジしたいと思いますが、植村さんの経験談を聞かせて頂けますか。

植村 私は新ラインの導入に関わりましたが、設備の搬入・据え付け・試運転時に様々なトラブルが発生しました。そのトラブルに直面し課題に向き合って、自己の成長の機会と前向きに受け止めることができました。それを乗り越え、新

ラインが完成した時に大きな達成感や、やりがいを得ることができます。ひと回り成長したと実感しています。

芹澤 私も任せられた業務が成功した時は達成感を味わい、経験を重ねることで成長も実感できています。また製造の方から感謝されると嬉しく、「次も頑張ろう!」と活力が湧いてきます。

植村 目的を達成し、感謝された時の充実感で疲れも吹き飛ぶよね。これからも困難な場面に遭遇すると思うけど、コミュニケーションを大切に地道に課題解決に取り組み、みんなで達成感を味わいましょう!

様々な人のコミュニケーションを大切にして日々の現場改善を推進し、将来は大きなプロジェクトで活躍できる技術者を目指します。

ワークインライフ

ワークインライフとは、働くことは人生の一部と意識して、仕事と生活が一体となった生きがいを感じる働き方のことです。すなわち、働くことが人生を豊かにし家庭、地域貢献、レジャー、学びなどの要素と密着、「働くことが、人生をより充実させ、豊かにする要素となる」と提唱しています。

「仕事と生活の調和」がワークライフバランスの考え方に対し、「一体となり相乗効果を生む」一步先を見据えた働き方がワークインライフです。

「健康経営」と「働き方改革」で 〈創造的な組織〉を実現

ワークライフバランス



仕事と家庭の両立をはかり、従業員のQOL(Quality Of Life:生活の質)向上に貢献

労働時間の管理

法令で求められる以上の会社目標を設定し、目標達成に向けIT化の推進や工程改善を行い、労働時間の削減に取り組んでいます。また、労働時間に関する情報は労働組合と共有し管理の徹底をはかっています。



有給休暇取得の奨励

業務の効率化をはかり、計画的に休暇を取りやすい環境整備に取り組むとともに、有給休暇取得状況を常に把握、フォローアップすることで取得を奨励しています。



育児と勤務の両立

育児休業取得後も小学校3年生進級までは時間短縮勤務やフレックスタイムが可能です。男女ともに仕事と育児の両立および育児休業の取得を奨励しており、2023年法改正以降、男性の育児休業取得が徐々に増加しています。

時短勤務	制度利用者
小学3年進級まで	育児休業…男性4名 女性9名
選択可能	時短勤務…4名
	フレックスタイム…12名

(2024年3月末現在)



健康リテラシー向上

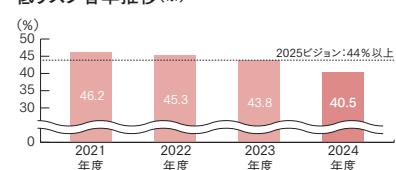


健康課題に対して自発的な行動変容を促す機会を提供

健康診断

従業員の心身健康維持のため、毎年定期健康診断を実施しています。また、当社は「健康づくり2025ビジョン」を策定し、達成に向けて健康増進活動に取り組んでいます。

低リスク者率推移(※)



ヘルスマチャレンジ

当社は毎年、9月～11月までの3ヶ月間を健康づくりキャンペーンとして「ヘルスマチャレンジ」を展開しています。運動習慣・食事改善・歯のケアに対するアクションで従業員の健康維持増進をはかっています。



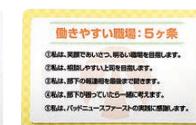
生産性の向上



従業員が自らの能力を発揮できる環境を整備

職場環境の向上

風通しの良い職場をめざして、管理職を対象に「何でも言いあえる風土づくり」宣言カードを配布しています。上司はバッドニュースファーストの実践や部下の報連相に耳を傾けるなどコミュニケーションの向上をはかっています。



ストレスチェックとセルフケア

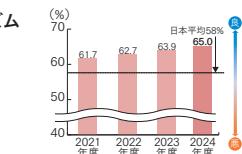
メンタルヘルス不調の未然防止や職場環境の改善を目的として、年1回の実施を行っています。実施結果に基づき、産業医や外部カウンセラーによるフォローアップ面談等を実施し、心身の健康をサポートしています。

生産性向上の指標評価

当社では、従業員の生産性向上の指標評価をWHO-HPQを用いて測定しています。風通しの良い職場、ハラスメント防止などの活動に加えストレスチェックによる課題の対応で心身ともに健康で働ける環境に取り組んでおりスコアは年々向上しています。

プレゼンティーズム (WHO-HPQ)

65.0%



ストレスチェック受検率

98.7%



ワークエンゲージメント



従業員が自発的にやりがいを持って仕事をするための職場風土の醸成

ワークエンゲージメントの向上

当社は5年毎に、従業員に対して37項目の満足度アンケートを実施し課題解決に取り組んでいます。その結果、毎年実施しているストレスチェックによる指標であるワークエンゲージメントが高い数値を維持し、働く意欲・活力が向上しています。

ワークエンゲージメント

2.38点
(4点満点)

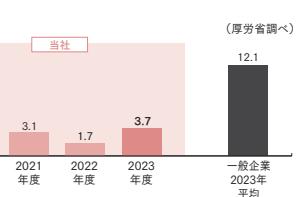


熱意・活力の向上

従業員に対し、職場や人間関係についてのアンケート調査を行うなど、働きやすい職場環境をめざすべく、様々な取り組みを実施し、活力に満ちた職場を提供しています。

離職率

3.7%



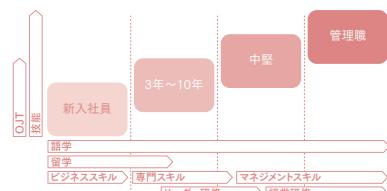
人材育成



従業員のチャレンジ精神の尊重と能力の向上

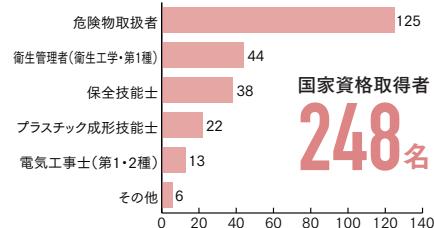
Skill Up Café プラン

当社教育プラン「Skill Up Café プラン」では、「階層別教育」と「技能別教育」で構成しています。「技能別教育」は、従業員の自己啓発・能力開発を目的とし、自らが学びたい教育を選択できます。



安全を支える人材育成

社内で働く全ての従業員に対して、それぞれの階層、役割等に応じた必要な教育を計画的・継続的に行なう必要があります。当社は、法令遵守、労働災害防止、スキルアップを目的に、各種免許の取得、技能講習・特別教育の受講を推奨しています。



労働安全衛生



すべての従業員が安心安全で業務に従事できる環境を整備

労働災害撲滅に向けた活動

「災害はゼロにできる」という強い意志のもと、当社はSTOP6®を重点的に活動しています。中でも車両、機械の巻き込まれを危険源とした災害は大きなけがになる可能性があるためリスクアセスメントの強化によりリスク低減に取り組んでいます。その結果、当社は重大・準重大災害は無災害を継続しています。

※STOP6:過去の災害から比率の高い危険事象(挟まれ巻込まれ・重量物・転倒・車両・感電・火傷)の6つを重点に未然防止活動を実施すること

2018年以降、6年間
重大・準重大災害(※)
ゼロ件
(2024年11月現在)

※重大・準重大災害:
死亡や重傷な後遺症が残る災害

作業環境向上の取り組み

安衛法第71条の2で「事業者は、快適な職場環境を形成するよう努めなければならない」旨を定めています。労働災害、健康障害を発生させないよう「仕事による疲労やストレスを感じることの少ない、働きやすい職場づくり」を推進しています。

作業環境測定
第2管理・第3管理区分
ゼロ件

【作業環境評価基準】
第1管理区分: 作業環境管理が適切にできている状態
第2管理区分: 作業環境管理に改善の余地がある状態
第3管理区分: 作業環境管理が適切でない状態



熱中症啓蒙レター



作業環境測定

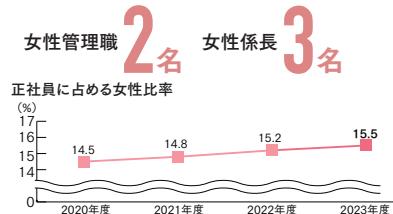
ダイバーシティ



多様な人材が適材適所で自身の能力を発揮できる職場を推進

女性の活躍

活躍できる職場の拡大をはかることで、正社員に占める女性比率は年々あがっています。今後も更に活躍の場を増やすとともに、管理監督者の拡充に向け、教育、環境づくりに取り組んでいきます。



障がい者が活躍する機会の拡充

社内での活躍する機会の拡充と合わせて、障がい者雇用支援を行う企業と提携し農場を運営しています。無農薬で栽培した野菜を食堂で使用し、良質な食材の提供と社会貢献を両立しています。



農場での作業風景

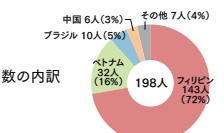
国境を越えた人材の採用と育成

東海モノづくりをグローバル展開するために国籍を問わず優秀な人材を積極的に採用しています。現場作業だけでなく、技術者として国内で研鑽を積み、将来的には海外拠点でも活躍できる人材育成に注力しています。

専門職・エンジニア **38名**
(海外勤務者4名 / 国内勤務者34名)



※1) 技能実習生: 日本で技能・技術を習得するために受け入れられた外国人
※2) 専門職・エンジニア: 専門スキル・技術を有し当社と雇用契約を結んだ外国人



コラム

LGBTQ視点での取り組み

当社はLGBTQの方の困りごととして「トイレ」の使いにくさに着目しジェンダーフリートイレの設置を実施しました。LGBTQの方に配慮したトイレは時に偏見をもたらすことがあります。

過去、公共施設で「ALL GENDER」のピクトグラムを表示したトイレが「LGBTQ専用」という印象がもたれ、性的マイノリティの方を悩ませた事例がありました。

そこで当社は、誰でも利用できる「ジェンダーフリートイレ」のピクトグラムを採用し、LGBTQの方のほか障がい者などすべての従業員・来客者が気兼ねなく利用できるよう配慮しています。

私の
六方よし宣言

海外拠点、プロジェクトの開発参拠などを実行しています。
今後も製造・研修を続けており、今後は多様な経験を深め、
日本語・中国語・英語を駆使して各拠点との連携協力に貢献します。

売り手よし



サステナブルなモノづくりと 調達活動

【仕入先さまへの取り組み】

当社はオープンでフェアな取引を行い、それによって仕入先さまとの共存共栄をはかるとともに、環境に配慮したサステナブルな調達活動を仕入先さまとパートナーシップ強化を行い実践しております。



サプライチェーン



持続可能な調達活動に向けて、公正な取引

環境に配慮したサステナブルな 調達活動

仕入先さまと環境負荷物質の少ない資材調達を『グリーン購買ガイドライン』を通して、推進してきました。

ガイドラインには、環境負荷物質の規制に関する法令に基づく調査を行うことを盛り込み、環境に配慮しております。



カーボンニュートラル活動

【エコ商品の導入】

当社では環境に配慮したエコ商品の検討・導入を進めています。直近では、各事業部の生産管理部門と協力して40%再生材を使用したストレッチフィルムを導入しました。



【購入品の再利用推進】

当社は製品輸送時の通箱の再利用を推進しております。通箱の規格化、共有化をはかることで製品が新旧入れ替わるときに仕入先さまの協力のもと補修をおこない資源の有効活用を行っています。



再利用
(2023年度)
10.9%

【電子化推進】

カーボンニュートラルに向けて紙書類の電子化を推進しております。直近では、金型に関わる注文書の電子化を実施しました。

仕入先さまとのパートナーシップ強化

【パートナーシップ構築宣言】

当社では、政府の新たな取り組みに賛同し『パートナーシップ構築宣言』を公表しております。

仕入先さまとガイドラインに基づき、共同でロス低減活動を実施するなど、環境に配慮した取り組みを実施しております。



【協力工場会議】

当社では各事業部の生産管理部門主催による定期会議を仕入先さまと一緒に生産や品質に関わる技術交流を行っております。



協力工場現場確認風景

【品質優良褒章】

品質管理の優秀な仕入先さまへは、毎年『品質保証委員会』にて表彰しております。



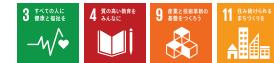
私の
六方よし宣言

作り手よし

購買部の仕事は、
仕入先様と社内をつなぐ
大事な役割があります。
仕入先様との日々の連絡を大切にし、
信頼を基盤に持続可能な
関係構築を目指しています。

文化・スポーツを通じた社会貢献

当社は、未来を担う青少年の健全育成と伝統文化の保護、伝承を重視した社会貢献活動を推進しています。さまざまな地域イベントに協賛・後援をおこない豊かでサステナブルな未来づくりのため、青少年の健全な育成をサポートしています。



バドミントンで地域に貢献



1986年に創部した東海興業実業団はバドミントンが盛んな大府市で活躍するとともに、地域の青少年のスポーツ振興に貢献。スポーツの架け橋として活躍しています。

地域文化交流

大府市と都市間交流を締結している愛媛県新居浜市の小学生を対象に開催されたバドミントン交流会に講師として参加。幅広い地域との育成活動に取り組んでいます。



ジュニア育成

大府市で開催された「クイーンズサーキット2023」では、国内TOPリーグに加盟する多くの企業とともにジュニア育成の取り組みに参加しました。そのほか様々なイベントを通して次世代育成に率先して取り組んでいます。



私の
六方よし宣言

世間よし

地域の青少年育成などへ
積極的に参画し、「健康都市
おおがい」の一役を担っていき
実感しています。今後も地域社会
と会社を繋いで育むにむけよう、
前進一丸で頑張ります。



バドミントン部 主将
西野 勝志さん(購買部)

伝統文化の保護、継承



亀崎潮干祭

亀崎潮干祭は衣浦工場のある半田市亀崎町で行われるお祭りで、300余年の歴史と伝統を守り、2016年にユネスコ無形文化財に登録されました。

当社は亀崎潮干祭に協賛し従業員駐車場を無料開放するなど、地域伝統を守る活動に貢献しています。



モータースポーツへの参加



ダカールラリー

当社は、豊かなスポーツ文化を創造し、心身の健全な発達と社会の発展に貢献するというCSR活動の理念のもと、「Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY」(運営トヨタ車体株式会社さま)を応援しています。

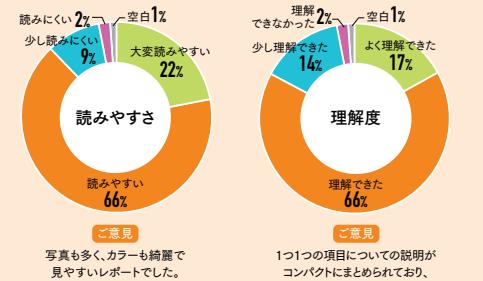
2024年大会はサウジアラビアで開催され、市販車部門11連覇を達成しました。



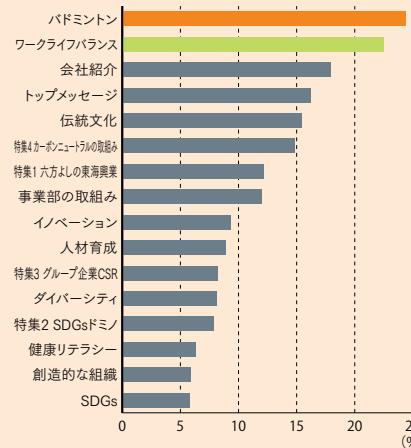
エンゲージメント

当社では、今後の活動や報告書の改善に役立てるため、サステナビリティレポートの読者の方々に、ご意見・ご要望をいただくアンケートを実施しています。今回はサステナビリティレポート2023について、当社の従業員およびご家族の方を対象にしたアンケート結果を報告します。

サステナビリティレポートについて



興味を持った項目について



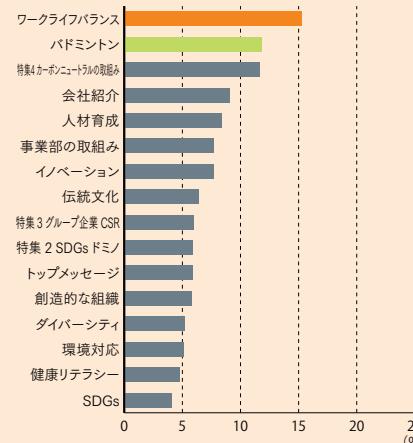
2024年度版への反映項目

アンケートの結果を反映し、バドミントンについては地域貢献の観点を中心にP18へ掲載しております。また、ワークライフバランスについては「10年後の自分に会いに行こう」をコンセプトに特集ページとして、先輩・後輩のダイアログをP11~12に掲載しております。

2024年度版への反映項目

読みやすさを追求し、文字数の適正化と図表・グラフや写真の多用は昨年度コンセプトを継承しました。また、今回の特集では、モビリティを通じてグローバルに貢献、世界に羽ばたく東海興業と題し、世界「S・E・K・A・I」をキーワードに掲載しました。

もっと知りたい項目について



防犯CSR

特集②

当社は六方よし経営の「世間よし」精神にもとづき、地域の安心安全なまちづくりの醸成に貢献しています。多様化・巧妙化する犯罪、交通事故、火災、自然災害に対して、善良な企業市民の一員として自治体と連携して誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

地域住民が安心安全に暮らせるまちに貢献

防犯CSR宣言

当社は、全国防犯CSR推進会議の趣旨である「地域住民、企業、行政、警察などが一体となった防犯の継続的活動」に賛同、防犯CSR推進会議WEBサイトに「防犯CSR推進宣言」し様々な活動を展開しています。



防犯モデル事業所

大府市を管轄する東海警察署より「防犯・青少年健全育成モデル事業所」の委嘱を受け令和5年度は地域安全活動、犯罪抑止などに貢献しました。



東海警察署から表彰状を授与

防犯カメラで交通安全、防犯に寄与

大府工場に隣接する県道253号沿い大府市立東山小学校通学路が見渡せる位置を含む3か所に設置し、交通安全、地域防犯の一助として24時間監視活動を展開しています。



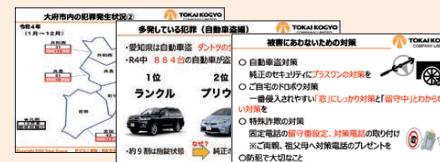
工場周辺のパトロール(クリーン大作戦)

工場周辺の清掃を兼ねて水曜日の早朝、巡回パトロールを実施しています。犯罪の温床になりがちな不法投棄の監視も含めクリーン活動を展開、地域住民からもお声掛けをいただいています。



従業員の防犯リテラシー向上

2023年7月に防犯に関するテーマの教育動画を作成しすべての従業員が視聴することで、企業内はもとより家庭での防犯についてリテラシーを高める活動を実施しました。



地域の防災活動

当社は工場内に限らず周辺地域の防火・防災に貢献すること目的に自衛消防隊を編成しています。消防自動車を利用した消火訓練を定期的に実施すると同時に自然災害の発災時には備蓄食料の無料配布も行っています。



持続可能な社会をめざす環境対応

地球温暖化、自然環境の劣化・減少が加速するなか、当社は脱炭素社会の実現に向け、環境マネジメントシステム活動を実践し限りある資源の有効活用と環境負荷のミニマム化をめざした事業活動を推進しています。



環境保護活動

地球温暖化対策

当社は、CO₂排出量の目標として2013年度比2030年度46%以上の削減を掲げています。目標達成に向けカーボンニュートラルのロードマップを作成。2022年度からプロジェクト活動を開始し、2023年度末時点まで4.5年前倒してCO₂削減が進んでいます。



循環型社会への貢献

当社は、3R(Reduce・Reuse・Recycle)を活動の中心として廃棄物の削減とリサイクルを推進しています。生産時の材料ロス(スクラップ廃棄)の極小化や歩留り向上などに取り組むと同時に産業廃棄物の100%リサイクル化を達成しています。



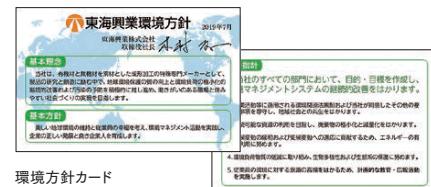
自然共生社会に寄与

当社は森を守り、海を守る活動を積極的に実施しています。工場での排水、排気、騒音など極小に抑える設備を導入し、自然環境を保持・保全する生物多様性に着手しています。活動の詳細は特集①(P7)をご覧ください。

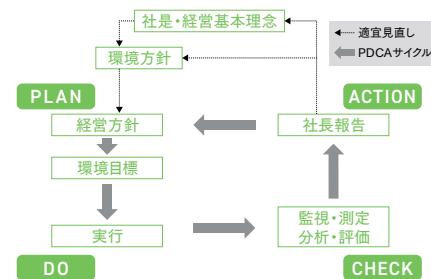


環境マネジメントシステム

当社では、すべての拠点で持続可能な循環型社会の実現のためISO14001の認証を取得しています。全工場統一した組織活動と個々の環境意識向上活動を軸に環境負荷低減に取り組んでいます。



環境方針カード



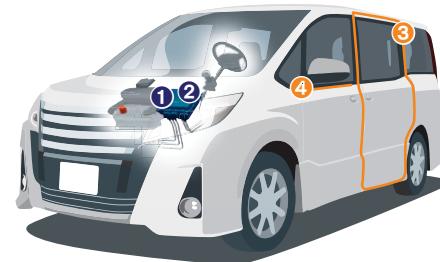
環境マネジメントシステムのPDCAサイクル

サステナブルな未来に貢献する当社のイノベーション

当社は、次世代モビリティの実現に向け、六方よし経営のひとつ「未来よし」で貢献します。オンリーワン技術による高機能製品を車メーカーに供給し、クリーンで快適なモビリティ社会を目指します。



次世代に向けたモビリティへの製品提供



快適空間への挑戦

自動車の電動化が進む中、エンジノイズに変わり、ロードノイズなどへの対策が移動空間としての次世代モビリティが求められてきます。当社では静粛性や新たな環境課題を取り込んだ次世代モビリティへの開発にチャレンジしています。

③ドアオープニングシール: 静粙性にこだわり、部品の発するわずかな音まで消音

ドアと接触しているシール部品は、走行時の車体振動等によるドアとの擦れ異音が課題でした。当社はシール用シリコンを新開発し、ドア接觸部に塗布することで消音/高耐久を実現、快適な車内空間に貢献しています。

④インナーウェザーストリップ: 環境に配慮し、材料ロスを最大限抑えて生産

生産立ち上げ時などに排出される樹脂を自社粉碎し、リサイクル材料として原材料の一部に採用。新たな環境課題へ積極的に対応しつつ、機能性を確保した次世代モビリティへの部品を提供しています。

電動化によるカーボンニュートラルに寄与する製品

HEVの黎明期から電動化に関わってきた当社は、PHEV、FCV、BEVと様々な環境車へCAE解析による最適化や独自成形技術を用いた高品質の製品を供給しています。

また、製造工程においてもCO₂低減を意識した工法開発を進めており開発から生産までトータルでカーボンニュートラルに貢献しています。

①リアクトル: バッテリ電圧を昇圧し、燃費を向上させます

高難易度の部材を世界初の特許工法「TACモールド」で一体成型し、量産することに成功しました。一体成型することでPHEV、HEVなどの燃費向上に貢献しています。更に製造ラインの加熱工程を廃止し、カーボンニュートラルに貢献しています。

②バスバー: モーターを駆動させるために大電流を流す配線です

省スペース配線が必要なため、高い製品精度が必要ですが、CAE解析を駆使し高精度製品を量産化しました。バスバーを一体成型することで省スペース化できBEV、PHEV、HEVなどの軽量化に貢献しています。

私の六方よし宣言

HEVなどに搭載される車載電子部品には、燃費向上に貢献する目的として難易度の高い設計が求められます。未来のモビリティ開発に貢献できるよう日々の開発に取り組みます。

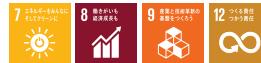
未来よし



電子デバイス事業部 高木 康平さん

事業部の環境への取り組み

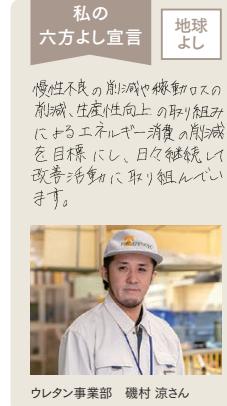
当社の各製造事業部では「環境方針」に基づき、工場毎に特色ある環境改善を展開しています。CO₂削減、リサイクル推進、作業環境など地球環境保護をはじめ、多方面からのアプローチを日々検討し、施策を実行しています。



ウレタン事業部

持続可能なウレタン事業部の将来に向けて

ウレタン事業部大府工場では、積極的な省エネ設備の導入を推進しており2022年に導入した排熱回収ボイラーを他の生産ラインに順次展開しています。また、廃棄ウレタンのリサイクルにも力を入れています。ひとつは、粉碎したチップウレタンをシート状やブロック状に形成した商品開発を検討しています。もうひとつは輸送時の荷崩れ変形防止として打ち抜き端材を袋詰めした緩衝材を活用し製品の品質向上に寄与しています。原材料の分野ではバイオ材料の活用に取り組むなど、持続可能なウレタン事業活動を展開しています。



シール事業部(樹脂)

DX化による生産性と品質の向上

シール事業部樹脂高浜第2工場の新規押出ラインでは、モーター回転数などの生産条件を社内サーバーで集中管理しています。それにより立上げ時や型替え後に生産条件の再現性が大幅に上がり、加えてヒューマンエラーによるトラブルの防止、製品の常時監視による品質安定化、ロス削減に大きな効果を出しています。従来では各設備の生産条件を紙に記入して残していましたが、DX化によりペーパーレスだけでなく、手作業で行っていた作業時間が大幅に減少しました。このラインを新たなモデルとし、今後国内外に新設する押出ラインにも展開していきます。



シール事業部(ゴム)

持続可能な未来に向けたゴム技術

シール事業部ゴム高浜工場では、CO₂排出量削減として成型、加工時のロスゼロ化活動を推進しています。工程内で廃棄される材料はもう一度原料に分解して再利用することで廃棄物の削減をはかっています。合成ゴムの強度や特性をあげるために配合されるカーボンブラックやプロセスオイルは再利用に成功しています。合成ゴムポリマーは加硫による化学反応で再利用は難しいとされていましたが、脱硫工程の確立により再利用が可能な状態となっています。現在は脱硫ゴムを利用した製品開発を検討しておりLCA全体での持続可能なゴム事業活動を推進します。



電子デバイス事業部

自動化による効率化と徹底したロス削減

電子デバイス事業部下條工場では射出成型機を用いて車載電子部品を生産しています。作業者に起因する製造ロスやムダな作業を改善するため自動機による一貫工程を構築し、ロス低減や生産性の向上に取り組んでいます。また、工場窓への遮熱シートや、高温に達する設備に対して断熱シートを取り付けたことで、空調設備の省エネが実現しました。休憩などで一時停止した設備の再稼働時に発生していた材料ロスのゼロ化にも成功し、廃棄物の削減に加えて生産の効率化に寄与し消費エネルギーの削減に貢献しています。



グループ企業のサステナビリティ経営

当社はTKG(東海興業グループ)全体でグローバルなモビリティ社会への貢献に取り組んでいます。グループ会社も当社と同じく【世界「S・E・K・A・I」に羽ばたく】をキーワードに様々な活動を推進しサステナブル経営を実践しています。

化成工業株式会社

世界「S・E・K・A・I」に羽ばたく 化成工業

E エネルギーの脱炭素化

カーボンニュートラルの取り組みとして廃タイヤから再生カーボンブロックを生成、合成ゴムの配合に採用する技術革新を推進しています。

再生カーボン(※)を用いたゴム製品



※ゴムの強度をあげるために必要な物質、再利用することで資源の有効利用に貢献します。

【温室効果ガスの削減】

カーボンブロック生成時のGHG削減

GHG排出量

1/3 に削減

【資源の有効利用】

廃タイヤリサイクル化

タイヤに含まれる カーボンブロック

28%回収

I 生きがいを感じられる働きやすい職場づくり

創立60周年を迎える化成工業は、「何でも言える職場」をめざし事務所をリノベーションしました。職場がまとまり、風通しがよく働きやすい環境に生まれ変わりました。



【職場環境をさらにもっと良くします】

休憩時間に他部署との交流がはかれるような「オープンカフェ」スタイルの休憩施設の設置を計画中です。



タカラ化成工業株式会社

世界「S・E・K・A・I」に羽ばたく タカラ化成工業

A 安全第一の労働環境

外部コンサルタントを招聘し、月1回の安全パトロールと安全衛生委員会を開催、実効性の高い改善を推進しています。その結果、九州行橋工場、北関東甘楽工場では、創業以来休業災害ゼロを継続中です。

【休業災害ゼロを継続中】

(2024年11月現在)

6087日間 2518日間



九州行橋工場



北関東甘楽工場

I 生きがいを感じられる働きやすい職場づくり

「活気のある持続的に成長する企業」の実現のため工場の作業環境整備を重点に取り組みを強化しています。

【西尾第1工場】

屋根北側をSOSEI工法による断熱コーティングをほどこし工場内の気温上昇を抑制しました。



【西尾第4工場】

新機種の生産に合わせてリノベーションしました。天井断熱シート(サーモバリア)をほどこし空調調整備された作業環境を実現しました。



E 環境 省エネ活動(CO₂削減)

●化成工業

高効率設備の導入、LED化、電動フォークリフトへの切り替えによりCO₂の排出削減に取り組んでいます。また、カーボンニュートラルのロードマップを策定し中長期でのCO₂削減活動も推進しています。

CO₂原単位削減率
36.5%減
(2013年比)



●タカラ化成工業

CO₂削減を目的として油圧式成型機を電動式へ変更、高効率タイプのチラー・コンプレッサー導入を積極的に推進しています。また、書類の電子承認システムを導入し、ペーパーレスの拡充にも力を入れています。

CO₂原単位削減率
43.5%減
(2013年比)



S 社会 働きやすい職場(労働時間の管理)

●化成工業

労働時間・有休取得などの見える化を目的に、勤怠管理システムの導入を実施しタイムカードの電子化を行いました。その結果、管理者が常に勤務状態を把握し適正に管理することができるようになりました。

全社平均残業時間
(2023年度)

23.8時間/月



●タカラ化成工業

自社開発した勤怠管理システムを構築し運用をしています。その結果、急な生産変動でも柔軟な対応が可能となり従業員の業務負荷の低減につながりました。今後は勤怠データを基にワークライフバランスの充実に向けた管理体制を強化します。

全社平均残業時間
(2023年度)

27.2時間/月

G ガバナンス リスクマネジメント(情報セキュリティ)

●化成工業

事業活動に関わる情報資産の徹底した管理を目的に機密情報保護規定を策定し運用を実施しています。近年増加するサイバー攻撃には社内教育と訓練を行い従業員の対応力強化に取り組んでいます。

自動車産業*
セキュリティチェックシート
(LV1)

100%達成
(2024年11月現在)

※自動車産業全体でサイバーセキュリティリスクに対処することを目的に策定された自己評価制度

●タカラ化成工業

本活動を開始した2022年から、規定の制定や組織編成、セキュリティ委員会設置など運用強化を行ってきました。今後はハード面でのセキュリティ強化と、従業員の教育に取り組んでいきます。

自動車産業
セキュリティチェックシート
(LV1)

97%達成
(2024年11月現在)

持続可能な企業づくりを推進

【コンプライアンス・リスクマネジメント】 サステナブル企業づくりにおける責任



企業のコンプライアンス遵守がより一層求められている昨今、当社では従業員が自主性をもってコンプライアンスを守る風土を醸成させるため、法令遵守にとどまらず一步踏み込んだ活動を推進しています。

コンプライアンス



法令遵守、企業倫理、モラル向上などあらゆる活動を推進

コンプライアンス推進体制

当社はコンプライアンス遵守のため、推進体制として各部門からなる委員会を設置、サステナビリティ推進部（統括部門）が、関連するコンプライアンスの規定、教育、監査を運営実施しています。



従業員のリテラシー向上

全従業員を対象としたCSR教育を年2回実施しています。2014年から開始し、今年で10年継続しており、年々多様化する新たなテーマについても時流にあわせ教育内容をブラッシュアップしています。



CSR Education Materials

倫理行動の周知徹底

従業員の倫理的かつ規律ある行動の推進のため、社会人として良識のある行動の基本方針をまとめた「東海興業グループ倫理行動規範ハンドブック」を配布し、常に携帯することで、倫理行動の浸透を促しています。



倫理行動規範ハンドブック

品質至上主義



六方よし経営の「買い手よし」の実現に向け徹底した品質管理により、お客様との強固な信頼関係を構築

品質コンプライアンスの遵守

当社は「品質至上主義」を品質方針とし、すべての従業員が品質方針を理解し実践することでお客様に満足を提供、すなわち「買い手よし」の構築を推進しています。



品質方針カード

品質マネジメントシステム

当社は2003年にISO9001取得以降、品質マネジメントシステムのスパイラルアップを推進しています。2024年11月には、自動車産業に関する国際規格IATF16949を全工場で認証取得しました。



IATF認証書

私の六方よし宣言



品質保証部 近藤 拓美さん

買い手よし

開発品の品質規格を顧客ごとに 맞た
業務に沿っています。
顧客、エンジニアーに、食品を届けるため、
社員一人ひとりがコミュニケーションを
取り、協力しながら業務を推進して
いきます。



新製品に向けた取り組み

当社では、新製品の品質保証体制の強化に取り組んでいます。製造部門・技術部門・管理部門が一体となり品質・納期に関するリスク評価をおこなうことで品質が安定した新製品の供給につとめています。

リスクマネジメント



あらゆるリスクを予防、事業の継続と安定的発展を確保

大規模自然災害

大規模地震やスーパー台風などの自然災害に備え、①人命第一②生産復旧③地域支援の3つの柱を基本方針とした事業継続計画を策定し大規模災害を想定した初動訓練を実施しています。



初動訓練(安否確認)風景

防火

火災はサプライチェーン全体へ影響を及ぼす重大リスクと捉え、法令点検、自主点検等の未然防止活動の他、消防署との合同訓練や初期消火競技会に参加、有事に備えた活動も積極的に実施しています。



消防署との合同訓練

情報セキュリティ

事業活動に関わる情報資産を重要な資産と位置づけ、機密保護に取り組んでおります。高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対し、ハード対策と規定運用強化の両輪で活動を推進しています。

自動車産業 セキュリティチェックシート

100%達成
(Lv1+Lv2)

SDGsと六方よし

対照表

SDGs	六方よし	当社の取り組み	ページ
「健康経営」と「働き方改革」で〈創造的な組織〉を実現 	売り手よし	ワークライフバランス 健康リテラシー	13
		生産性の向上 ワークエンゲージメント	14
		人材育成 労働安全衛生	15
		ダイバーシティ	16
サステナブルなモノづくりと調達活動 	作り手よし	サプライチェーン	17
文化・スポーツを通じた社会貢献 	世間よし	バドミントンで地域に貢献 伝統文化保護、継承 モータースポーツへの参加	18
持続可能な社会をめざす環境対応 	地球よし	環境保護活動	21
サステナブルな未来に貢献する当社のイノベーション 	未来よし	次世代向けたモビリティへの 製品提供	22
事業部の環境への取り組み 	地球よし	ウレタン事業部、シール事業部、 電子デバイス事業部	23, 24
持続可能な企業づくりを推進 	買い手よし	コンプライアンス	27
		品質至上主義 リスクマネジメント	28

ガイドライン

東海興業のCSR

ISO26000

当社では、「ISO26000」の中核主題をガイドしながら、本業を通じてステークホルダーの期待に応える活動を推進しています。



企業統治

基本理念である「新しい価値を創造して、お客様の信頼・社会への貢献・従業員の幸せ確保を果たす」に基づき、健全かつ公平な経営体制のもと、法令遵守・企業倫理・モラル向上を柱としたコンプライアンスとリスクマネジメントを構築し、迅速かつ適切な情報開示につとめます。

人権

国内外を問わず人権と尊厳を尊重し、いかなる差別やハラスメントを許さず、多様な価値観を共有し組織の活性化を基本方針とします。

労働慣行

働きがいを感じられる職場環境を提供し活力のある風土を醸成させます。健康経営を取り組みの柱として従業員の心身のゆとり、豊かさ、学びの機会、安全安心な職場づくりを基本方針とします。

環境

持続可能な社会、環境の実現のため環境保護への取り組みが重要であると考えます。当社は環境マネジメントシステムISO14001に沿った活動に加え2050年のカーボンニュートラル達成に向けたロードマップを策定し脱炭素社会に貢献します。

公正な事業慣行

ステークホルダーに対しあらゆる法令および社会ルールの遵守をお約束します。

消費者課題

次世代向けたモビリティ社会に貢献すべく材料から製品企画、製造を一貫して社内で管理し高品質な製品を提供することを基本方針とします。

コミュニティ参画

当社はバドミントン実業団チームを通じて青少年健全育成や、ダカールラリーへの参画でモータースポーツの発展に寄与することでスポーツ・文化を通じた社会貢献につとめます。

 東海興業株式会社

〒474-8688 愛知県大府市長根町四丁目1番地

TEL 0562-44-1500 FAX 0562-44-1590

<https://www.tokaikogyo.co.jp/>



リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



印刷インキには、生分解性に優れ、
VOC(揮発性有機化合物)が少なく、
環境に優しい原料である植物油
インキを使用しています。

